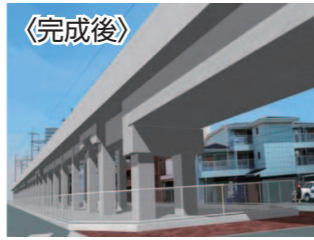


## ★阪急連続立体交差の完成イメージ

千里丘東  
付近



阪急  
摂津市駅  
付近



※駅のデザインは未決定

ランド  
水路付近



# 阪急京都線の高架化が始動 渋滞解消や安全性の向上に期待

### 1時間あたり40分以上 踏切遮断が解消

現在、摂津市駅の周辺にある坪井踏切と産業道路踏切はピーク時には1時間あたり40分以上、乙の辻踏切と千里丘踏切は1時間あたり30分以上、遮断機が下りていま

す。市内4つの踏切の一日あたりの遮断時間は、約9時間から11時間となっています。

連続立体交差事業により、鉄道を高架化することで踏切がなくなり、踏切による交通渋滞が解消されます。また、市街地の一体化が図られ、道路交通網が円滑になることで、救急・消防活動の迅速性が確保されます。

### 安全性も向上

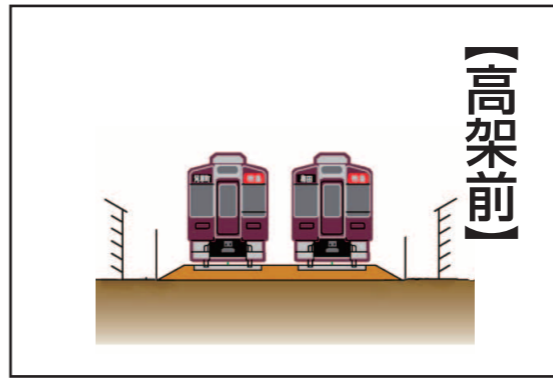
朝と夕方の通勤・通学時などは、遮断機が下りている時間が長く、車やバイク、自転車、歩行者が狭い踏切を行き交っており、安全性に問題があります。また、踏切を待つ歩行者と自転車の滞留場所も狭く、問題となっています。

### 対象の区域は

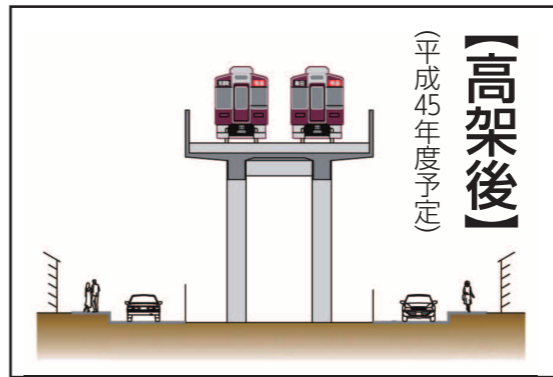
高架化対象区域は庄屋1丁目から茨木市の丑寅2丁目の約2.1km区間です。この区域内のうち、摂津市区域では坪井、産業道路、乙の辻、千里丘の4つの踏切が、茨木市区域では千里丘上二番の踏切がなくなります。

### 平成45年度完成予定

平成29年2月に都市計画決定さ

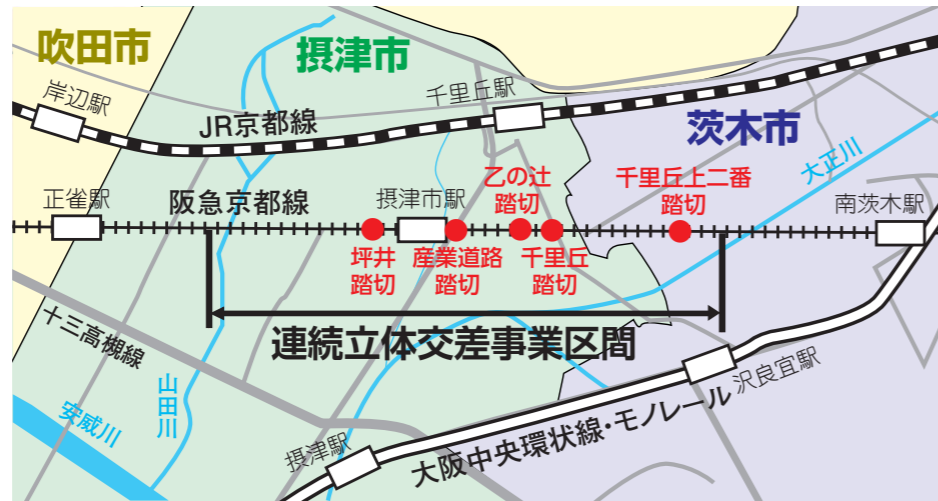


【高架前】



【高架後】  
(平成45年度予定)

摂津市駅周辺における阪急京都線の高架化（連続立体交差）に向け、本市ではこの4月から新たに連続立体交差推進課を立ち上げるなど、本格的に動き出しています。  
同事業は、大阪府が事業主体となり、摂津市、茨木市、阪急電鉄（株）で実施します。南の鳥飼大橋の架け替え、北の千里丘ガードの拡幅に続く、交通渋滞の緩和のほか、安全性の向上、市街地の分断解消、交差街路の整備などが期待される事業です。



れた同事業は、平成30年2月に国の事業認可を取得しました。今年度は事業に必要な区間の測量や、土地の境界を確定するための現地立ち会いなどを実施します。その後、必要な用地の取得などを行い、工事に着手。平成45年度の事業完了を目指しています。

